

令和6年度

栄小学校 2年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： えがおの ひみつ たんけんたい
(活動名)

ねらい： ・地域の多様な場所や人々に関わる活動や、身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々と自分たちの生活との関わりや公共物のよさや働きを捉えたり、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々とかかわるよさや楽しさがわかり、地域に親しみや愛着をもち、すすんで触れ合い交流をすることや、適切に接したり安全に生活したりすることができるようにするために本単元を設定した。



【6月5日】
通学路のコース
ごとに町を探検
しました。

普段何気なく通っている場所や遊んでいる場所ですが、町の人がいろいろなところで働いていたり、自分たちを気にかけてくれていたりすることに気付きました。



【9月29日】
自分たちの
町の店や施設
を探検し
ました。

店や施設の人に質問をしたり、中を見せてもらったりしました。実際にインタビューさせていただくことで、店の人の工夫や苦勞、思いを知ることができました。



【10月～11月】
気付いたことや考
えたことをポスタ
ーにまとめまし
た。

働いている人たちの思いや施設・お店の工夫に気付きました。丁寧な言葉で話していることがすてきだから真似したいなと思いを膨らませていました。



【11月26日】
お家の人や友達、
1年生に発表し
ました。

気付いたことや思ったことを発表した後、質問や感想を言ってもらいました。「町のひみつ」を伝えようと、クイズを出しながら、一生懸命に発表していました。

まとめ コラム

町や町の人に触れ、自分たちの町にはいろいろなお店があることやいろいろな人がいることを学びました。お店や施設に直接行ってインタビューや見学をさせてもらったり、手紙で質問に答えてもらったりしながら、身近な人々に親しみをもっていました。

栄小学校の周りにはすてきな人がたくさんいることが分かり、町への愛着を深めていました。